

松江工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	情報工学創造演習 1
科目基礎情報						
科目番号	0010		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	2		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	教員自作のテキスト					
担当教員	渡部 徹,橋本 剛					
到達目標						
(1) プログラミング：スモウルビーを使ったプログラミングができる。 (2) 問題解決：ブレインストーミング等を用いて、グループまたは個人でアイデアをまとめることができる。 (3) メンバーシップ：チーム内での各々の役割を認識し、対話を通して解決手法を提案することができる。 (4) 文書作成：解決方法を応募用紙等にわかりやすくまとめることができる。 (5) プレゼンテーション：アイデアをまとめて発表することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	プログラミング：スモウルビーを使ったプログラミングができる		プログラミング：スモウルビーを使ったプログラミングができる		プログラミング：スモウルビーを使ったプログラミングができない	
評価項目2	問題解決：ブレインストーミングやKJ法等を用いて、グループまたは個人でアイデアをまとめることができる		問題解決：ブレインストーミングやKJ法等を用いて、グループまたは個人でアイデアをまとめることができる		問題解決：ブレインストーミングやKJ法等を用いて、グループまたは個人でアイデアをまとめることができない	
評価項目3	メンバーシップ：チーム内での各々の役割を認識し、対話を通して解決手法を提案することができる		メンバーシップ：チーム内での各々の役割を認識し、対話を通して解決手法を提案することができる		メンバーシップ：チーム内での各々の役割を認識し、対話を通して解決手法を提案することができる	
評価項目4	文書作成：解決方法を応募用紙等にわかりやすくまとめることができる		文書作成：解決方法を応募用紙等にわかりやすくまとめることができる		文書作成：解決方法を応募用紙等にわかりやすくまとめることができない	
評価項目5	プレゼンテーション：アイデアをまとめて発表することができる		プレゼンテーション：アイデアをまとめて発表することができる		プレゼンテーション：アイデアをまとめて発表することができない	
学科の到達目標項目との関係						
情報工学科教育目標 J3						
教育方法等						
概要	J2とJ3の合同授業。主に、課題に沿ったアイデアを発想し、アイデアを文章にまとめ、プレゼンテーションを行う能力を養う。「松江OSSビジネスプランコンテスト」では、実際に学外コンテストに応募するための応募用紙を作成し、最後にプレゼンテーションを行う。「スモウルビー・プログラミング甲子園」では、実際にプログラムを作成し、実際に応募するための準備を行う。「ミニプロコン」ではブレインストーミング等の発想法によりアイデアを提案し、アイデアを報告書にまとめ、最終的にプレゼンテーションを行なう。					
授業の進め方・方法	上記(1)～(5)の到達目標における評価項目と以下の割合で評価する。 1. ミニプロコン 40% 2. 松江OSSビジネスプランコンテスト 40% 3. スモウルビー・プログラミング甲子園 20% 合計得点の50点以上（100点満点）を合格とする。再評価試験は実施しない。					
注意点	予習：演習当日に行なう事柄について、概要を事前に考えておく。 演習日：指導教員の研究室で教員と討議の上、課題の内容を決定・実施し、最後に報告書を提出する。さらに、次回演習日までの課題（宿題）を決定する。 復習：次回演習日までの課題（宿題）を実施する。オフィスアワーを活用すること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	授業ガイダンス／コンテスト 松江OSSビジネスプランコンテストに応募する準備を行う。			
		2週	コンテスト 松江OSSビジネスプランコンテストに応募する準備を行う。			
		3週	コンテスト 松江OSSビジネスプランコンテストに応募する準備を行う。			
		4週	コンテスト 松江OSSビジネスプランコンテストに応募する準備を行う。			
		5週	スモウルビー・プログラミング甲子園 スモウルビー・プログラミング甲子園のプログラムを作成する。			
		6週	コンテスト 松江OSSビジネスプランコンテストに応募する準備を行う。			
		7週	スモウルビー・プログラミング甲子園 スモウルビー・プログラミング甲子園のプログラムを作成する。			
		8週	コンテスト 松江OSSビジネスプランコンテストのポスター発表を行う。			
	4thQ	9週	ミニプロコン ミニプロコンのアイデアをまとめる。			
		10週	ミニプロコン ミニプロコンのアイデアをまとめる。			

		11週	ミニプロコン ミニプロコンのアイデアをまとめる。	
		12週	ミニプロコン ミニプロコンのアイデアを応募用紙にまとめる。	
		13週	ミニプロコン ミニプロコンのプレゼンテーションの準備を行う。	
		14週	ミニプロコン ミニプロコンのアイデアを発表する。	
		15週	ミニプロコン ミニプロコンのアイデアを発表する。	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	その他の学習内容	少なくとも一つの具体的なコンピュータシステムについて、起動・終了やファイル操作など、基本的操作が行える。	2	
				少なくとも一つの具体的なオフィススイート等を使って、文書作成や図表作成ができ、報告書やプレゼンテーション資料を作成できる。	2	
				少なくとも一つのメールツールとWebブラウザを使って、メールの送受信とWebブラウジングを行うことができる。	2	
				メディア情報の主要な表現形式や処理技法について説明できる。	2	

評価割合

	ミニプロコン	松江OSSビジネスプランコンテスト	スモウルビー・プログラミング甲子園	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40	20	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	40	40	20	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0